

演奏者プロフィール



◆ 指揮：佐藤 守廣 ◆

市内小中高を卒業後、武蔵野音楽大学器楽科に進む。在京オーケストラやプラスアンサンブル等で経験を積み、福島県公立中学校音楽教師となり、郡山ジュニアオーケストラ、FCT 少年少女合唱団の指揮も務める。『第九』演奏は当会第1・2・3・6・7・10・11・12演奏会、2015年田村郡初演の三春第九等の指揮を務める。退職後は市内小中高・一般の合唱団やオーケストラ・吹奏楽団等の指揮及び指導を続けている。郡山市音楽アドバイザー。みんなで歌う第九の会企画編成アドバイザー。



◆ コンサート・マスター：高宮城 凌 ◆

桐朋学園大学音楽学部卒業。第56、60回全日本学生音楽コンクール福岡大会第1位、第14回日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位等、数々のコンクールで上位入賞。卒業演奏会出演。マルメ交響楽団、琉球交響楽団、群馬交響楽団と共演。ヴァイオリンを高宮城徹夫、屋比久潤、原田幸一郎、神谷美千子の各氏に師事。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。日本各地のプロオーケストラにコンサートマスター、首席奏者として客演東京シティフィルハーモニック管弦楽団に在籍。



◆ ソプラノ：隠岐 彩夏 ◆

青森県五所川原市出身。岩手大学教育学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士、博士後期課程修了。第20回友愛ドイツ歌曲コンクール第1位。文部科学大臣賞受賞。第85回日本音楽コンクール声楽部門の第1位と岩谷賞（聴衆賞）を受賞、全部門でのE.ナカミチ賞を受賞。文化庁新進芸術家海外研修員として、2019年ニューヨークへ留学。2023年にソロアルバム『Dearest Night 愛しの夜』（キングレコード）をリリース。



◆ メゾソプラノ：中島 郁子 ◆

東京都出身。東京藝術大学卒業、同大学院修士課程独唱科修了。文化庁海外派遣研修員としてミラノに留学。第72回日本音楽コンクール第2位、第56回ヴィオッティ国際音楽コンクール声楽部門第3位。第15回R.ザンドナーイ国際声楽コンクール・ザンドナーイ特別賞。多くのオペラや宗教曲等ソリストとして出演。東京藝術大学声楽科准教授。二期会会員。



◆ テノール：小原 啓楼 ◆

郡山市出身。東京藝術大学卒業。同大学院博士号取得。二期会『トロヴァトーレ』マンリーコ、『蝶々夫人』ピンカートン、『ローエングリン』タイトルロール、新国立劇場『夕鶴』与ひょう等に出演。中でも2012年『沈黙』主役ロドリゴでは迫真の演唱で絶賛された。ソリストとしても広いレパートリーで国内主要オーケストラと共演多数。愛知県立芸術大学教授。二期会会員。



◆ バリトン：福島 明也 ◆

島根県出雲市出身。東京藝術大学卒業同大学院修了。1987年文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。第54回日本音楽コンクール第1位入賞（福沢賞）。1992年サンタ・マルゲリータ（イタリア）第10回Corso di Cantoで第1位。第25回ジロー・オペラ賞大賞受賞。1997年新国立劇場開場記念公演『建・TAKERU』、1998年長野オリンピック記念公演『善光寺物語』、平安遷都1300年記念奈良薬師寺『遣唐使～阿部仲麻呂』等、大きな節目の行事に初演のオペラで主演。東京藝術大学教授。日本演奏家連盟会員。二期会会員。

◆ 復興祈念 郡山第九オーケストラ2025 ◆

当会の企画編成を務める佐藤守廣氏の構想と声掛けにより2016年第6回演奏会より発足。市内高校生（一部小中学生を含む）を中心に郡山等出身の音大生やその卒業生、及びプロ奏者やフリーの音楽家として活躍する方やその友人達等の協力により実現した。郡山での『復興第九』のオーケストラに是非参加したい！と集まったプレイヤーの約8割は地元出身の奏者で、それだけ多くの人財を輩出した証との、正に楽都を象徴するオーケストラと云える。音楽への真摯な憧れを持ちながら、たゆまぬ努力を続ける若い演奏家達が、熱い想いで奏でる『ふるさとに捧げる第九』。毎回大好評を得ている。

◆ 合唱指導スタッフ

合唱指導&ボイストレーナー：橋本厚子

練習ピアニスト：岡野貴子

◆ みんなで歌う第九の会 ◆

2011. 3. 11の東日本大震災。地震と原発事故による放射能災害で街が静まり停滞ムードにあった時、復興の意欲を音楽で示そう！第九の持つ友愛こそ絆！と「みんなで歌う第九の会」として「第九を歌う為に集まった合唱団」です。

2013年12月に郡山市民文化センターエントランスホールの大階段に115名の合唱団が整列し、ピアノ・エレクトーンで第4楽章を演奏したのを皮切りに、2回目からは郡山市民オーケストラによる全楽章演奏会に。5～7回演奏会は400名を超える大合唱になりました。コロナ禍による2回の演奏会の休止を経て、今回は約300名での合唱になる予定です。震災を克服し立ち上がろうとする今、私達は復興祈念を掲げて「第九の持つ偉大な力」を力強く歌い上げる事でその輪に加わりたくと願っています。

復興が長年に及ぶなら第九も連年と！